

## 4. 定点把握対象感染症患者報告状況（月報）

### （1）過去5年間の報告状況

疾患名	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)
性器クラミジア感染症	272	267	274	284	255
性器ヘルペスウイルス感染症	300	285	277	257	178
尖圭コンジローマ	86	65	86	79	75
淋菌感染症	52	60	42	59	47
性感染症報告数 小計	710	677	679	679	555

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	283	269	258	276	269
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	7	5	3	3	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	1	0	3	2
薬剤耐性菌感染症報告数 小計	291	275	261	282	272

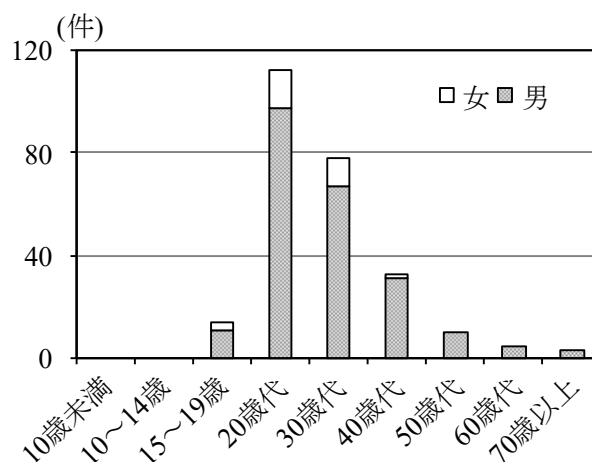
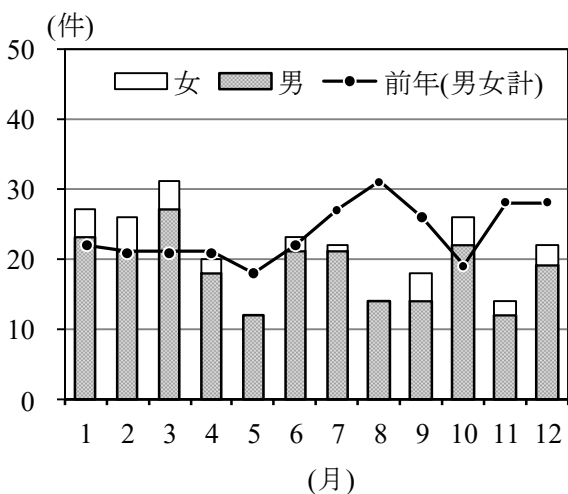
### （2）性感染症患者報告状況

性感染症の総報告数は555件で、前年（679件）より減少した。過去5年間では、700件前後の範囲で推移している。男女別では、男性402件（前年442件）、女性153件（前年237件）と、男性の報告数、女性の報告数ともに減少した。

疾患別では、性器クラミジア感染症（45.9%）、性器ヘルペスウイルス感染症（32.1%）の割合が非常に多く、次いで尖圭コンジローマ（13.5%）、淋菌感染症（8.5%）の順に多かった。

#### ① 性器クラミジア感染症

性器クラミジア感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数



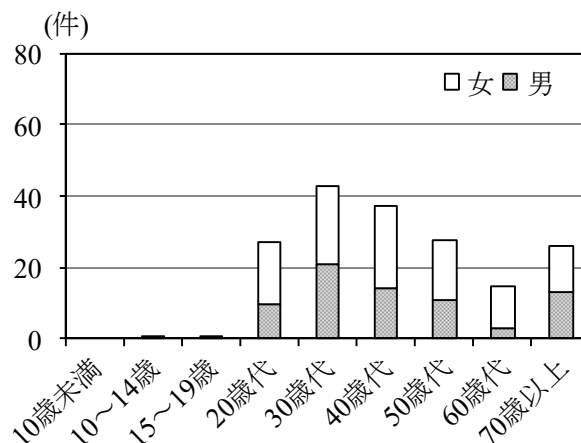
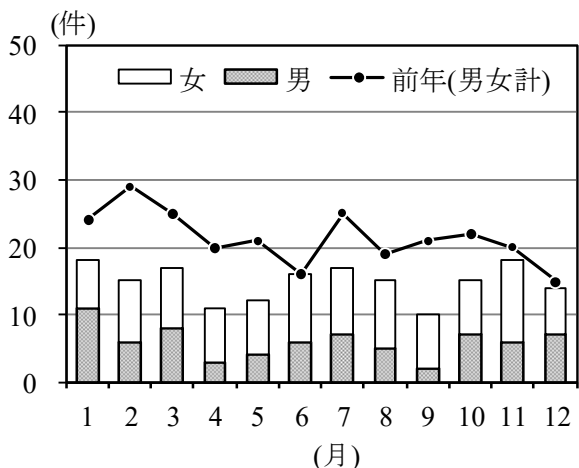
2020年の年間報告数は255件と、前年（284件）から減少した。過去5年間の年間報告数も約260～280件と、ほぼ横ばいで推移している。

月別報告数においても、月毎に増減はあったものの季節的な特徴は見られず、年間を通じて報告された。男女別では、男性 224 件（前年 238 件）、女性 31 件（前年 46 件）と男性、女性の比は前年とほぼ変わらず、全体では男性（約 88%）が多くを占めた。

年齢別報告数では、10 歳代 14 人（5.5%）、20 歳代 112 人（43.9%）、30 歳代 78 人（30.6%）、40 歳代 33 人（12.9%）、50 歳代以上 18 人（7.1%）と、20 歳代、30 歳代からの報告が多かった。

② 性器ヘルペスウイルス感染症

性器ヘルペスウイルス感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数



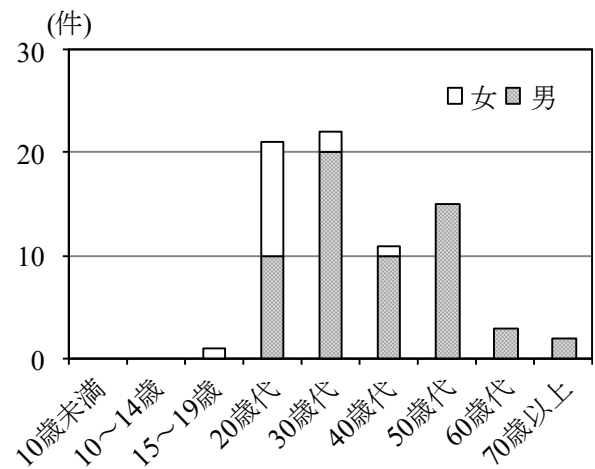
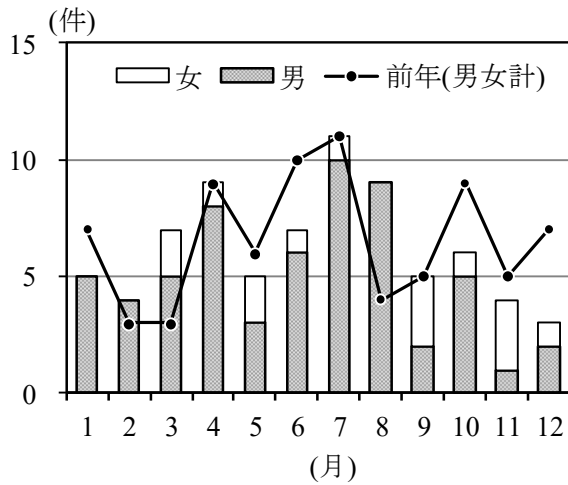
2020 年の年間報告数は 178 件と、前年（257 件）から減少した。月別報告数推移でも、月毎に増減はあったものの季節的な特徴は見られず、年間を通じて報告された。男女別では、男性 72 件（前年 82 件）女性 106 件（前年 175 件）と、男性・女性ともに報告数は減少した。

また性感染症全体では男性が女性より多く報告されているが、本疾患は女性が約 60%を占めるなど、女性の割合が他の疾患に比べ高いのが特徴である。

年齢別報告数は、10 歳代 2 人（1.1%）、20 歳代 27 人（15.2%）、30 歳代 43 人（24.2%）、40 歳代 37 人（20.8%）、50 歳代 28 人（15.7%）、60 歳代 15 人（8.4%）、70 歳代以上 26 人（14.6%）と、幅広い年齢層から報告された。また、60 歳以上のからの報告数が約 23.0%と他の性感染症と比較して多い傾向が見られたが、潜伏していたウイルスによる再発の可能性も考えられる。

③ 尖圭コンジローマ

尖圭コンジローマの月別患者報告数と年齢別患者報告数

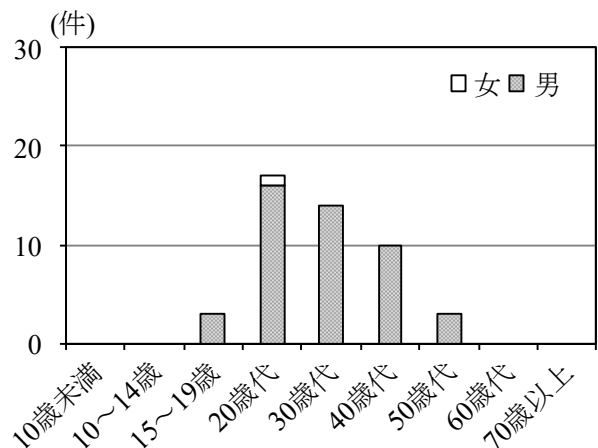
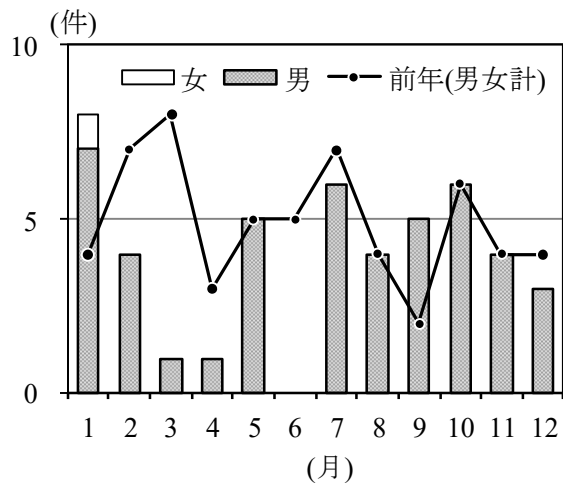


2020年の年間報告数は75件と、前年(79件)からやや減少した。男女別では、男性60件(前年67件)、女性15件(前年12件)と、男性は前年と比べ報告数が減少、女性は増加した。全体では男性(80%)が多くを占めた

年齢別報告数は、10歳代1人(1.3%)、20歳代21人(28.0%)、30歳代22人(29.3%)、40歳代11人(14.7%)、50歳代15人(20.0%)、60歳代3人(4.0%)、70歳代以上2人(2.7%)と、他の年代に比べ20～40歳代からの報告が多く、全体の72%を占めた。

④ 淋菌感染症

淋菌感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数



2020年の年間報告数は47件と、前年(59件)から減少した。男女別では、男性46件(前年55件)、女性1件(前年4件)と性器クラミジア、尖圭コンジローマと同じく男性からの報告が多く、約98%を占めた。

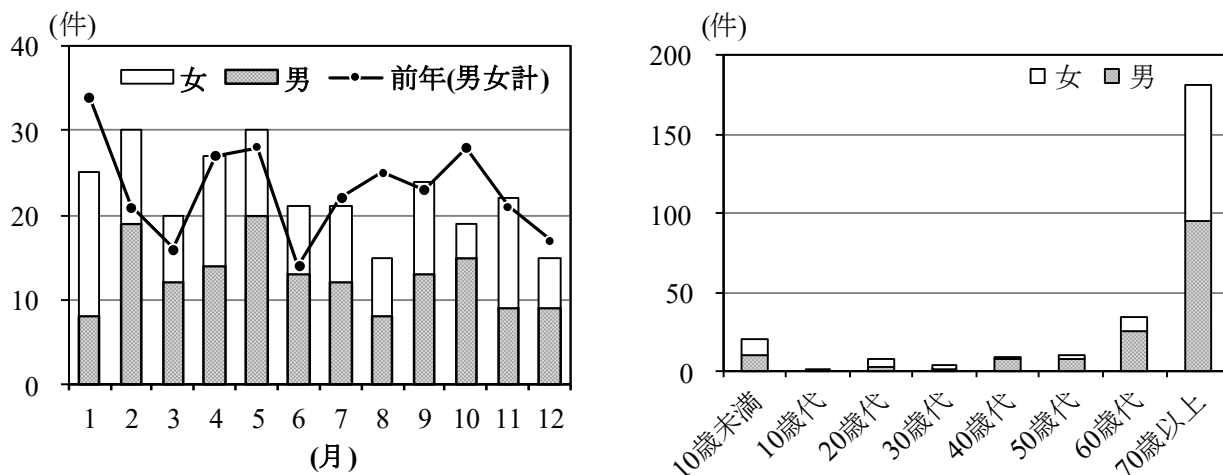
年齢別報告数は、10歳代3人(6.4%)、20歳代17人(36.1%)、30歳代14人(29.8%)、40歳代10人(21.3%)、50歳代3人(6.4%)であった。他の性感染症と同様に、20～40歳代の割合が高く、全体の約87%を占めた。

(3) 薬剤耐性菌感染症患者報告状況

薬剤耐性菌感染症の総報告数は272件で、前年(282件)から減少した。疾患別の届出数においては例年同様、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の割合が大半(約99%)を占めた。

① メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数

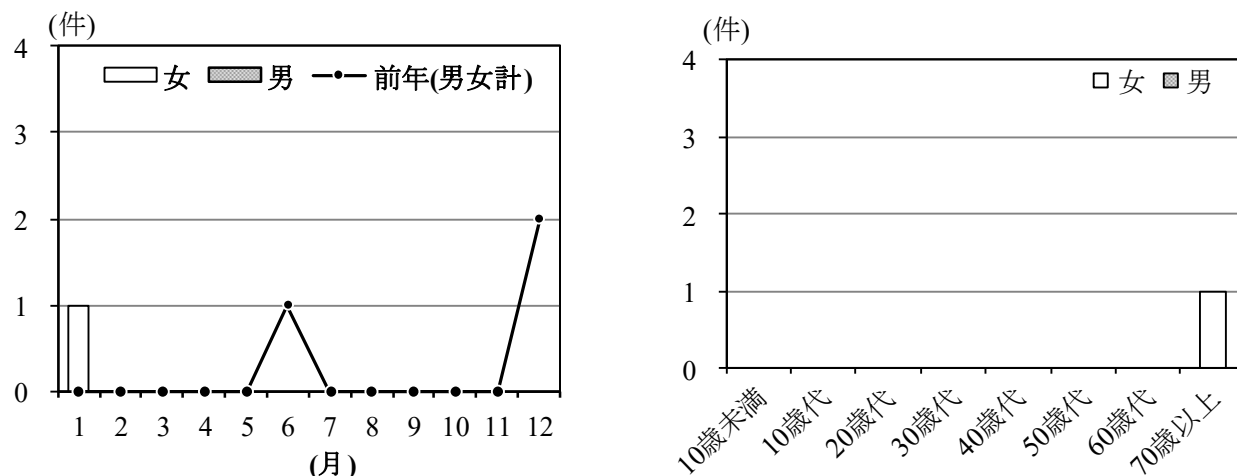


2020年の年間報告数は269件(男性152件、女性117件)であり、前年(276件)からやや減少した。月別報告数では、月毎に増減はあったものの季節的な特徴は見られず年間を通じて報告され、男女別では、前年同様に男性が女性より多く報告された。

年齢別報告数は、10歳未満20人(7.4%)、10歳代2人(0.7%)、20歳代8人(3.0%)、30歳代4人(1.5%)、40歳代9人(3.4%)、50歳代11人(4.1%)、60歳代34人(12.6%)、70歳以上181人(67.3%)と、60歳を超え年齢が高くなるにつれ大きく増加した。

② ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数

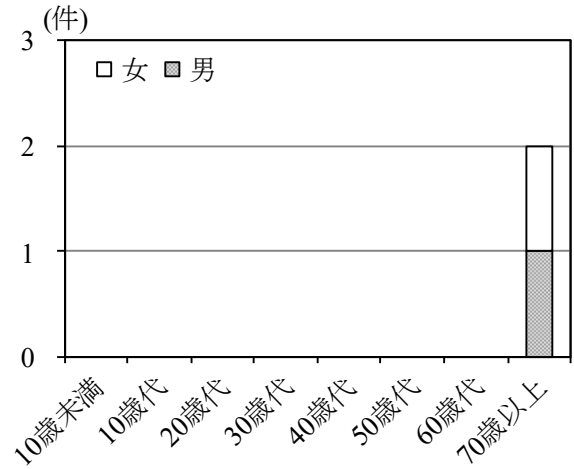
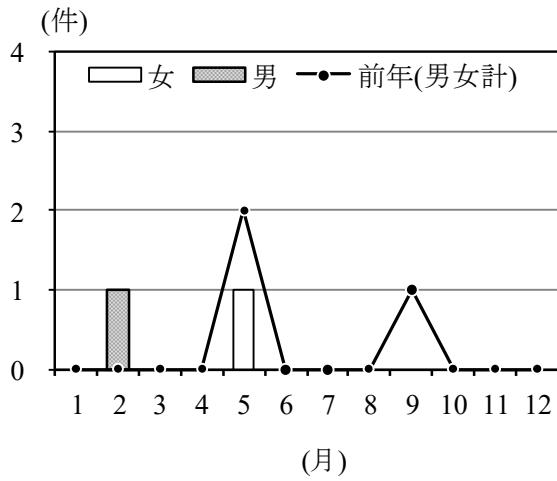


2020年の年間報告数は1件であり、前年(3件)から減少した。

年齢及び性別は70歳以上の女性であった。過去5年間では、毎年3~7件の届出数で推移している。

③ 薬剤耐性緑膿菌感染症

薬剤耐性緑膿菌感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数



2020年の年間報告数は2件（男性1件、女性1件）と、前年（3件）より減少した。いずれも70歳代以上の報告であった。過去5年間では、毎年0～3件の届出数で推移している。